

8. 科学研究費など外部資金

2023 年度

- a. 研究課題
- b. 研究代表者
- c. 金額

8.1. 日本学術振興会

基盤研究(A)

- a. 恒星対流層から惑星間空間までを包括した太陽面爆発現象の理解と先進予測の実現
- b. (代表) 草野完也、(分担) 横山央明
- c. 令和 3 年度から 7 年度(総額 5,720,000 円) 令和 5 年度 横山分担金 240,000 円

基盤研究(B)

- a. 恒星コロナ進化の理論的研究
 - b. (代表) 横山央明
 - c. 令和 3 年度から 5 年度(総額 9,750,000 円) 令和 5 年度 580,000 円
-
- a. 恒星スーパーフレア解明のための太陽フレアの The-Sun-as-a-star 研究
 - b. (代表) 柴田一成、(分担) 浅井歩
 - c. 令和 3 年度から 5 年度(総額 4,550,000 円) 令和 5 年度 浅井分担金 2,570,000 円

基盤研究(C)

- a. 極限補償光学に対応した免震型分割鏡制御システムの開発
 - b. 木野勝
 - c. 令和 3 年度から 5 年度(総額 4,030,000 円) 令和 5 年度 910,000 円
-
- a. 日本・ペルー・サウジアラビア高速太陽爆発監視システムの構築と宇宙天気研究への活用
 - b. 上野悟
 - c. 令和 2 年度から 5 年度(総額 3,300,000 円) 令和 5 年度 232,030 円
-
- a. 高時間分解能光球観測で探る太陽フレアにおける粒子加速領域の磁気構造
 - b. 永田伸一
 - c. 令和 4 年度から 3 年度(総額 4,290,000 円) 令和 5 年度 260,000 円
-
- a. 惑星状星雲の高空間分解多波長三次元分光データ解析による恒星風質量放出の解明
 - b. 大塚雅昭
 - c. 令和 4 年度から 7 年度(総額 3,510,000 円) 令和 5 年度 780,000 円

若手研究

- a. 可視赤外測光・分光観測と現代統計的解析手法の開発による降着円盤不安定性の解明
 - b. 磯貝桂介
 - c. 令和2年度から5年度(総額 3,900,000 円) 令和5年度 752,759 円
-
- a. 高精度の距離指標を目指した極めて暗い Ia 型超新星の爆発機構の解明
 - b. 川端 美穂
 - c. 令和3年度から5年度(総額 3,250,000 円) 令和5年度 650,000 円

国際共同研究加速基金

- a. 超大型太陽望遠鏡 DKIST で迫るプラズマ加熱の新たな物理的描像
- b. (代表)鳥海森、(分担)横山央明
- c. 令和2年度から5年度(総額 18,720,000 円) 令和5年度 横山分担金 800,000 円

日本学術振興会外国人招へい研究者事業(短期・第2回)

- a. デンバー大学 植田稔也准教授の招へい。「京大せいめい望遠鏡を用いた惑星状星雲 3-D 分光観測による星周物質分布の総合理解」の実施
- b. 大塚雅昭

8.2. 京都大学他部局

生存圏研究所 令和5年度生存圏科学共同研究

- a. 長期太陽黒点観測スケッチのデジタル画像データベースの構築
- b. 浅井歩
- c. 200,000 円

8.3. 光・赤外線天文学大学間連携事業

- a. 大学間連携による光・赤外線天文学研究教育拠点のネットワーク構築事業
- b. 太田耕司
- c. 12,630,000 円

8.4. 国立天文台大学支援経費

- a. 完全データ駆動によるダスト減光補正とプラズマ診断の包括的解析法の確立・啓発
- b. 大塚雅昭
- c. 850,000 円